

# 質問

まちづくりや暮らしに関する制度など、市のあらゆる事業、方針について議員が質問する中で、主張・提言・指摘します。  
市の重要な施策の決定を、この本会議で行っています。

3月定例会は代表質問のみです。質問時間は答弁とあわせて90分です。

三田市議会会議録

三田市議会インターネット中継

検索

## 市民の会

家代岡 桂子 議員



充実を図ることとした。また、多様な世代の交流を促し、高齢者が活躍でき、若い人びとのアイデアとエネルギーを活かしたまちの賑わいづくりに取り組む。三田の立地条件を活かし、まちの新たなブランド創造、魅力発信などのシティーセールスに積極的に取り組み、新たな定住者交流や人口を受け入れる環境を整えたい。(市長)

## まちづくり 「日本一住みたいまち 三田」 づくりについて

議員 森市長が目指す「日本一住みたいまち 三田」のイメージとその実現時期は。

市 「日本一住みたい三田」は20年を達成目標に。

日常生活の中で全世代が一緒になり、助け合いながら生き生きと活躍できるまちをイメージし、「三田市総合戦略」を着実に進めることで、日本の、将来のモデル都市となるようなまちづくりを目指す。日本一の実現は、総合戦略の対象期間である5年間(2019年度末)を一つの目安と考えている。(鹿嶽企画財政部長)

## 予算 新年度予算案について

議員 市長は新年度を「三田市総合戦略」の実質スタートの年と位置付け、「三田の新たなブランド創造の創生型予算」として編成されたが、予算案に込められた思いと特に力を入れた施策は。

市 新定住者の受け入れ環境を整える。

子育て支援策を発展させ子育て環境の整備を進めるとともに、地域が一体となって子どもの学びの

## 経済 商店街の空き店舗対策について

議員 市長のマニフェストにある「地域に元気を」の一翼を担うのは商店街だが、そこに増えている空き店舗対策は。

市 民間と行政が一体となって。

商店街の活性化は非常に大きな問題だ。一番のポイントは市役所の中の商工とまちづくりのセクションの連携がうまくいってない感じがすることだ。商店街の空き店舗対策は単に後継者などの問題だけでなく、まちづくりの問題として、民間と行政が一体となり、かなり新しい形でやらなければならない。(市長)

他の質問 ●人件費と組織の活性化 ●女性職員の登用 ●防災・減災 ●市民病院 ●教育問題 ●商業振興 ●屋敷町の御池(おおいけ)など新しい観光資源の整備



## 日本共産党三田市議団

中田 初美 議員



市 就学援助制度の拡充を検討。

子どもの貧困対策として、就学援助制度の拡充について検討し、できることから実施していきたい。(岡崎学校教育部長)

## 病院 市民病院の直営での急性期医療 300床の堅持を

議員 国では医療費削減のための病床削減の動きがあるが、三田市の将来推計入院患者数は現在の1.8倍となっている。増床できないまでも、現状の急性期医療300床を堅持してほしい。県下では病院の再編・統合が進んでいるが、三田市では不採算部門が担える直営堅持を。

市 300床を堅持していきたい。

引き続き急性期医療を中心とした二次救急病院としての役割を担い、現在の300床を堅持できるよう県等に対して要望している。また経営形態については、何が最善の選択肢か慎重に比較検討したい。(辻病院副事業管理者)

説明



\*二次救急病院：入院や手術を要する症例に対する医療機関

## 教育 就学援助の対象にクラブ活動費などの拡充を

議員 子どもの貧困化に対し、文部科学省は2010年度からクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の3項目を就学援助の対象に拡充した。このことから本市でも拡充をと何度か求めたが、要保護家庭のみの拡充に止まっている。経済的理由で部活に入れない生徒を出さないためにも、早期に準要保護家庭の子どもたちへの拡充を。

## 経済 経済効果の大きい住宅リフォームや店舗リフォーム制度の創設を

議員 全国629の自治体で住宅リフォームが実施され、10数倍以上の経済波及効果が出ている。三田市でも地域経済活性化の起爆剤として、また地元小規模事業者支援として、住宅リフォーム助成制度や店舗リフォーム助成制度を創設してはいかがか。検討ではなく前向きな決断を。

市 事業雇用を進める中で検討したい。

店舗リフォームについては、特に小規模事業者にとっては厳しい状況が続いているので、地元企業を支援し経済の活性化を図る取り組みが必要である。28年度には起業・創業への支援体制を構築し、その事業展開を進める中で検討して参りたい。(市長)  
住宅リフォーム助成制度については、先行する近隣市の状況や効果、課題などを勘案しながら、総合戦略も含め来年度検討結果を出したい。(菟原経済環境部長)

他の質問 ●介護保険の新展開と「三田版地域包括ケアシステム」 ●生きづらさを抱える子ども・若者支援 ●三田の農業を守るためのTPPへの姿勢と三田牛の肥育頭数増加のための肥育農家・酪農家への支援 ●治水、土砂災害、有害鳥獣被害対策としての里山保全再生 ●コミュニケーション障がいに対する支援

